SDGs新聞

アスクル株式会社

クリアホルダー (クリアファイル) が生まれ変わって帰ってくる!?

☑ SDGsラジオを読んでみよう!

みなさんは、学校のプリントをまとめるときに「クリアファイル」を使うことがありますか? たいせつ 大切なプリントを守ってくれてうすくて軽いから、とても便利ですよね。 でも、何回か使ったあと、捨ててしまうことが多いと思います。

捨てられたクリアファイルは、ゴミとして燃やされたり、土にうめられたりして、地球に悪い影響を与えてしまいます。
そこで、いろんな商品をネットで売っている会社「アスクル」は、使い終わったクリアファイルを新しいクリアファイルにしたり、ペンなどの文房具や、毎日のくらしに使ういろんな商品につくりかえたりして、また使えるようにする取り組みをしています。
使い終わったものが生まれ変わって、また戻ってくることから、これらの商品は「マタクル (Matakul)」という名前がついています。
みなさんも何かを捨てる前に、「これって本当に捨てるしかないのかな?」と、立ちにまって考えてみませんか。

☑ SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう!



がぞうさんしょう しょう ず 画像参照:使用済みクリアホルダーリサイクルの流れ こうしきホームーツ (アスクル公式HPより)



Matakul

・クリアホルダーからつくったクリアホルダー ・クリアホルダーからつくったジェットストリームボールベ ・クリアホルダーからつくったブリックス ベン立て ・クリアホルダーからつくったブリックス 小物入れ

ができまれしょう 画像参照:アスクルの商品シリーズ「Matakul」 こうしき (アスクル公式HPより) クリアファイルは、学校や会社などでプリントをまとめるときによく使われています。大切なプリントを守ってくれるとても便利なアイテムですが、何回か使ったあとに捨てられてしまうことも多く、毎日たくさんのクリアファイルがゴミに出されています。さらに、ほとんどがプラスチックでできているため、燃やすと二酸化炭素(CO2)が発生し、地球環境に悪い影響を与えてしまうことがあります。そこで、文房具などいろいろな商品をネットで売っている会社「アスクル」は、使い終わったクリアファイルをあったが、新しいクリアファイルやボールペン、ペン立てなどの文房具にリサイクルする取り組みをスタートしました。

クリアファイルは、ほとんどがプラスチックだけでつくられているため、とてもリサイクルしやすい商品です。アスクルでは、使われなくなったクリアファイルを「ペレット」と呼ばれる小さな「つぶ」にして、それをペンなどの文房具や毎日のくらしに使ういろんな商品につくりかえています。こうして生まれ変わった商品には、「使い終わったモノが形を変えて、またみんなのもとにやって来る」という思いをこめて、「Matakul(マタクル)」という名前がつけられました。アスクルは、これからも「モノを無駄にしないこと」と「二酸かたんをの排出を減らすこと」を大切にしながら、いろいるな商品のリサイクルに取り組んでいきます。

マキーワード

クリアファイル

プリントを守るための透明なファイルです。学校や会社でよく使われ、「クリアホルダー」とも呼ばれています。

カきゅうおんだん か 地球温暖化

くうき なか にさんかたんそ ちきゅう きおん すこ たか **空気の中の二酸化炭素(CO2)などが増えることで、地球の気温が少しずつ高くなっていくことです。**

ペレット

プラスチックペレットは、プラスチックを $3\sim5$ mmほどの「つぶ」にしたもののことで、別のプラスチック製品をつくるための材料になります。

対象ゴール







みなさんにできること!

モノを捨てる前に、本当に捨てるしかないのかを考えてみましょう。

おさらい

- クリアファイルを捨てると、地球温暖化などの問題につながる。
- クリアファイルは、ほとんどがプラスチックだけでつくられているため、リサイクルに向いている。
- アスクルは、使い終わったクリアファイルをリサイクルしてつくったいろいろな商品を「Matakul(マタクル)」という名前で売っている。

		3